

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日
東

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所
コード番号 3985 URL <https://temona.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐川 隼人
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部部長(氏名) 波多野 完治 (TEL) 03-6635-6452
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年9月期第3四半期	1,370	△25.0	△62	—	△62	—	△49	—
2023年9月期第3四半期	1,825	15.1	△40	—	△32	—	△34	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 △49百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△4.62	—
2023年9月期第3四半期	△3.20	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年9月期第3四半期	1,970	1,046	51.2
2023年9月期	2,254	1,091	46.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 1,008百万円 2023年9月期 1,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,932	△17.4	13	—	11	—	△5	—	△0.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	11,425,592株	2023年9月期	11,425,592株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	742,917株	2023年9月期	745,317株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	10,681,210株	2023年9月期3Q	10,660,275株

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2023年9月期744,500株、2024年9月期3Q742,100株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料(ファクトシート)は2024年8月9日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するもとの、各種政策の効果もあり緩やかな回復が期待されているものの、不安定な国際情勢に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安、インフレなどにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和4年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2022年のBtoC-EC市場規模が前年比9.91%増の22.7兆円、BtoB-EC市場規模が前年比12.8%増の420.2兆円となりました。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）も、BtoC-ECで9.13%、BtoB-ECで37.5%と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループは、経済環境が悪化した中でも安定した収益を確保しやすいサブスクリプションビジネスを総合的に支援することで、顧客の事業成長に貢献し続けることが成長の鍵だと考え、①ターゲット領域の拡大、②サブスクバリューチェーンの拡充という事業戦略を推し進めております。当社グループではこれらの事業戦略により顧客とともに事業成長を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間は、「サブスクアット」や「サブスクストアB2B」のサービス利用アカウント総数の増加といった増収要因がありましたが、「サブスクストア」及び「たまごリピート」のサービス利用アカウント総数や流通総額の減少、システムの受託開発収益の伸び悩みやシステムエンジニアリングサービスの提供先減少等により、売上高は1,370,080千円（前年同期比25.0%減）となりました。

売上原価は、受託開発収益の減少やシステムエンジニアリングサービスの提供先減少に伴う外注費の減少等により、663,455千円（前年同期比22.4%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務効率化や人員の適正再配置等により人件費・採用費が減少したこと等から、768,724千円（前年同期比23.9%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業損失62,099千円（前年同四半期は営業損失40,126千円）、経常損失62,772千円（前年同四半期は経常損失32,217千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失49,321千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失34,066千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(a) EC支援事業

EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。

EC支援事業におけるサービス別の業績を収益区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

サービスの名称	収益区分	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)		増減額	増減率 (%)	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
a	サブスクストア	リカーリング収益	284,497	19.4	247,442	22.1	△37,055	△13.0
		受託開発収益	218,783	14.9	19,372	1.7	△199,411	△91.1
		その他収益	74,827	5.1	73,010	6.5	△1,816	△2.4
	たまごレポート	リカーリング収益	302,584	20.6	248,458	22.2	△54,125	△17.9
		受託開発収益	—	—	—	—	—	—
		その他収益	38,748	2.6	25,959	2.3	△12,789	△33.0
	小計	919,441	62.6	614,242	54.8	△305,199	△33.2	
b	決済手数料	GMV連動収益	360,179	24.5	321,011	28.6	△39,168	△10.9
c	その他	リカーリング収益	57,958	3.9	71,666	6.4	13,707	23.6
		受託開発収益	92,254	6.3	88,736	7.9	△3,518	△3.8
		その他収益	40,040	2.7	25,603	2.3	△14,436	△36.1
		小計	190,254	12.9	186,006	16.6	△4,247	△2.2
合計 (a+b+c)		1,469,875	100.0	1,121,260	100.0	△348,615	△23.7	

- a. 「サブスクストア」のサービス利用アカウント数は421件（前年同期比9.1%減）、「たまごレポート」のサービス利用アカウント数は420件（前年同期比14.1%減）となり、これらのサービス利用アカウント総数は841件（前年同期比11.7%減）となりました。

「サブスクストア」及び「たまごレポート」のアカウント数の減少からリカーリング収益（※2）は減少しており、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益（※3）も伸び悩み、売上高は614,242千円（前年同期比33.2%減）となりました。

- b. 当社グループの提供するサービスに係る流通総額は、「サブスクストア」及び「たまごレポート」のサービス利用アカウント総数の減少などから、931億円（前年同期比4.0%減）となり、GMV連動収益（※4）も、321,011千円（前年同期比10.9%減）となりました。

- c. リアル店舗向けのサービスである「サブスクアット」のアカウント数（契約法人数）が208件（前年同期比20.2%増）となったことや、BtoB事業者向けのサービスである「サブスクストアB2B」のアカウント数が23件（前年同期比15.0%増）となったことなどから、リカーリング収益が71,666千円（前年同期比23.6%増）に伸張したものの、「サブスクアット」に付随するWebページ制作サービスが減少したことから、受託開発収益が88,736千円（前年同期比3.8%減）となりました。その結果、その他サービスの売上高は、186,006千円（前年同期比2.2%減）となりました。

以上の結果、EC支援事業の売上高は1,121,260千円（前年同期比23.7%減）、セグメント損失は35,295千円（前年同四半期はセグメント損失74,620千円）となりました。

(b) エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、株式会社サクルにおいて、システム開発の受託サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

エンジニアリング事業においては、システム開発の受託サービスの伸び悩み、システムエンジニアリングサービスの提供先減少等により売上高は307,514千円（前年同期比35.8%減）、セグメント損失21,040千円（前年同四半期はセグメント利益38,141千円）となりました。

- ※1 EC化率 : 全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。
- ※2 リカーリング収益 : 利用した月に応じて定額で課金するサービスの収益。
- ※3 受託開発収益 : 当社のシステムのカスタマイズなど、受託開発による収益。
- ※4 GMV連動収益 : 顧客の流通総額に連動して発生する収益。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べて283,629千円減少し、1,970,910千円となりました。この主な要因は、借入金の返済などにより現金及び預金が228,715千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて238,630千円減少し、924,526千円となりました。この主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が152,604千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて44,998千円減少し、1,046,383千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が49,321千円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました「業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,545	971,830
売掛金及び契約資産	216,392	173,944
その他	79,456	89,878
貸倒引当金	△2,365	△1,850
流動資産合計	1,494,029	1,233,802
固定資産		
有形固定資産	46,791	30,966
無形固定資産		
ソフトウェア	255,473	261,546
のれん	231,726	208,740
無形固定資産合計	487,199	470,287
投資その他の資産		
投資有価証券	17,250	17,250
繰延税金資産	131,753	141,446
その他	81,184	77,397
貸倒引当金	△3,667	△239
投資その他の資産合計	226,519	235,854
固定資産合計	760,510	737,107
資産合計	2,254,539	1,970,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,542	45,641
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	205,512	156,781
未払法人税等	24,112	11,578
その他	224,317	182,994
流動負債合計	726,484	596,996
固定負債		
長期借入金	424,923	321,050
株式給付引当金	11,750	6,480
固定負債合計	436,673	327,530
負債合計	1,163,157	924,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,421	386,421
資本剰余金	376,421	378,374
利益剰余金	875,201	825,880
自己株式	△583,744	△582,035
株主資本合計	1,054,300	1,008,640
新株予約権	37,082	35,983
非支配株主持分	—	1,759
純資産合計	1,091,382	1,046,383
負債純資産合計	2,254,539	1,970,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	1,825,711	1,370,080
売上原価	855,258	663,455
売上総利益	970,453	706,624
販売費及び一般管理費	1,010,579	768,724
営業損失(△)	△40,126	△62,099
営業外収益		
受取配当金	225	338
受取手数料	101	5
助成金収入	10,787	1,051
その他	1,572	1,050
営業外収益合計	12,688	2,444
営業外費用		
支払利息	1,516	3,117
売上債権売却損	3,262	—
営業外費用合計	4,779	3,117
経常損失(△)	△32,217	△62,772
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,220
特別利益合計	—	5,220
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,217	△57,552
法人税等	1,848	△8,343
四半期純損失(△)	△34,066	△49,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	112
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,066	△49,321

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,066	△49,208
四半期包括利益	△34,066	△49,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,066	△49,321
非支配株主に係る四半期包括利益	—	112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合、法定実効税率を用いて当該税金費用を計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	EC支援事業	エンジニアリング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,469,875	355,836	1,825,711	—	1,825,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	122,886	122,886	△122,886	—
計	1,469,875	478,723	1,948,598	△122,886	1,825,711
セグメント利益又は損失(△)	△74,620	38,141	△36,478	△3,647	△40,126

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去3,647千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

株式会社AISにおいて、事後的に株式の取得対価を修正する事象が発生したことに伴い、対価の一部が返還されたため、返還された対価の金額を取得原価から減額するとともに、のれんを減額しております。また、減額したのれんは企業結合日時点で減額されたものと仮定して計算し、当連結会計年度以前に対応するのれん償却額は当連結会計年度の損益として処理しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	EC支援事業	エンジニアリング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,121,260	248,820	1,370,080	—	1,370,080
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	58,694	58,694	△58,694	—
計	1,121,260	307,514	1,428,775	△58,694	1,370,080
セグメント損失(△)	△35,295	△21,040	△56,335	△5,763	△62,099

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△5,763千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	108,469千円	109,155千円
のれんの償却額	21,486千円	22,986千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。